

平成30年11月15日

健民運動推進本部

担当：川内・高橋

内線：3816

外線：076-225-1365

石川県健民運動青少年ボランティア賞表彰式の開催について

石川県健民運動推進本部では、自発的に自分の技能や時間を提供して社会に参加し、地域や学校、職場において、ひたむきに他人や社会に貢献する活動を行う団体又は個人を表彰することにより、次代を担う心豊かでたくましい青少年の育成を図っています。

今回、下記のとおり表彰式を実施します。

記

1 日 時 平成30年11月21日（水） 14：00～14：30

2 場 所 県庁行政庁舎4階 特別会議室

3 出席者 本部長（知事）、副本部長、受賞団体・者など約40名

4 その他 <添付資料>

・平成30年度青少年ボランティア賞受賞団体・個人及び活動内容

◎なお、取材を希望される方は、事前に担当（高橋：3816）までご連絡いただきますようお願いいたします。

平成30年度青少年ボランティア賞受賞団体・個人及び活動内容

<団体の部>

	団 体 名	活 動 内 容
1	金沢市立 新堅町小学校 6年生	新堅町小学校では、昭和47年に鱒町交差点に地下道が完成したことを受けて、6年生による地下道清掃活動が始まり、兄弟や親、祖父母世代から受け継がれて今日に至っている。今年度は20名を4人ずつ5グループに分けて曜日担当で、毎日、天候に関係なく、午前7時45分から8時まで清掃活動を行っている。また、清掃活動に加えて、地域の人と明るく挨拶を交わすことも活動の一つとしており、地域の環境美化と明るい社会づくりに大きく貢献している。
2	金沢市立 緑中学校	緑中学校では、毎年2回、生徒がチームを組んで早朝から各地域の指定集積所を回り、古新聞や古雑誌などの古紙を回収して中学校へ持ち帰り分別して、業者に引き渡している。団地では日頃から部活動で鍛えている生徒たちが出向いて、重い古雑誌等を回収してくれるため住民からたいへん喜ばれている。また毎年、1年生が中心となって「二塚ジョンカラ」保存会の協力を仰ぎながら練習し、夏の行事に参加している。資源回収や伝統文化の継承を通して地域のコミュニティづくりに大きく貢献している。
3	輪島市立 東陽中学校	東陽中学校では、「ふるさと五千人の祭典」に生徒会執行部が自分たちの意見を提案するなど企画・運営の段階から参加し、準備や片付けには全校生徒が協力するなど、学校を挙げて地域行事を推進している。また、「よさこいソーラン」にも取り組み、老人ホームの訪問や地域の各種イベントで発表している。さらに、3年生は修学旅行先でタブレットを用いたプレゼンや手描きパンフレットの配布により輪島の観光名所や食材をPRするなど、地域の活性化に大きく貢献している。
4	石川県立 飯田高等学校 野球部	野球部は、「地域ピカピカ運動」と銘打ち、毎週月曜日の7時50分から8時10分まで天候に関係なく学校周辺及びバス停の清掃を行っている。また、毎年2月には鉢ヶ崎海岸の清掃活動を行い、冬季には積雪の状況により一人暮らしの高齢者宅周辺や、学校及びバス停周辺の雪かきを行っている。現在では、その活動範囲も拡大して、練習試合で使用する球場周辺のゴミ拾いも行っている。地域住民からも喜ばれており、明るく礼儀正しい部員たちの活動は、地域に大きく貢献している。
5	金沢星稜大学 人間科学部 「池田ゼミナール」	「池田ゼミナール」の学生たちは、自主的に毎月1回～3回、環境保全活動や子どもたちへの教育支援活動、地域コミュニティ促進活動など、様々な社会的活動を積極的にかつ継続的に実践している。活動内容は、穴水町ボラ待ち櫓の再復興活動、金澤伝燈寺里芋の植え付け等の地域コミュニティ促進活動、農作業体験による非行少年立ち直り支援活動、詐欺被害防止や不法投棄撲滅などの街頭キャンペーンへの参加など多岐にわたり、これらの活動は地域に大きく貢献している。

6	諸江地区子ども会連合会ジュニアリーダー会	ジュニアリーダー会は、年2回の諸江地区の沿道の清掃活動のほか、資源回収やユニセフ、災害ボランティア協会等の募金活動を行っている。また、諸江地区に古くから伝わる「諸江住吉おどり」の継承や、地域の提灯行列、太鼓行列、社会体育大会、諸江公民館夏祭り、諸江文化まつり等の企画運営にも地域と連携しながら継続的に参加している。これらの環境美化活動や募金活動、伝統文化の継承や地域行事への参加を通じた活動は、地域住民からも高く評価されており、地域に大きく貢献している。
7	上戸いかなて（泉郡子ども会）	上戸いかなてでは、毎週金曜日の夜8時から集落の一人暮らし高齢者の身守りも兼ねた防火夜回りを実施している。平成29年までは中学生もいたが、現在は小学2年生から6年生だけで実施している。拍子木を鳴らし、「火の用心」と連呼しながら子どもたちだけで2つの集落を回っている。これがきっかけとなって子どもたちと高齢者とのコミュニケーションが生まれ、方言かるた制作へと発展するなど、伝統文化の継承や地域づくりに大きく貢献している。

<個人の部>

	氏名	活動内容
1	橋谷 衣美	平成19年から11年間以上、金沢市子ども会連合会シニア委員会に所属し、子ども会行事（提灯太鼓行列、グラウンド・ゴルフ大会、金沢市子ども会大会等）に積極的に参加し、子ども会行事の運営を支援してきた。平成28年からはシニア委員会委員長として目標を設定し、メンバーを一つにまとめて牽引している。また、中・高校生のジュニアリーダーを育てる合宿を企画・運営し、後進の育成にも力を入れている。社会人になってからも仕事と両立しながら常に前向きに取り組む姿は、子どもたちや他のシニア委員の模範となっており、その活動は青少年の健全育成に大きく貢献している。
2	市子 裕美	本年までの10年間以上にわたり、旅（体験活動）を通じた青少年の健全育成を目的とするユース hostel 運動を推進してきた。小学生を対象とした夏4回、秋冬2回の宿泊体験では、社会人スタッフとして大学生スタッフをサポートし、子どもたち同士の親交が深まる活動を工夫し計画するなど、企画・運営面で大いにリーダーシップを発揮してきた。石川県ユース hostel 協会の行事に対して企画から実施まで積極的に取り組む姿は、大学生スタッフの模範となっており、その活動は体験活動を通じた青少年の健全育成に大きく貢献している。